

第34回「ふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】 村立幼稚園（小学校）PTA 活動用のパソコン環境整備について等

- ・PTA 活動用パソコンについて村立幼稚園の PTA を行っているが、PTA 活動用のパソコンが無い
ため、整備してほしい。（パソコンが必要な作業もあり、PTA 用のパソコンが無いと）役員
に手を挙げる人もいなくなってしまう。
- ・幼稚園の預かり保育に必要な書類の記載が煩雑である。また、就労証明書の提出は、就労状況
に変化があった時のみ提出すれば、年度毎の提出は必要ないのではないか。
- ・預かり保育料の支払いが銀行振込か役場での現金支払いのみで不便なので、口座引き落とし、
せめてコンビニ支払いできるようにしてほしい。
- ・預かり保育の使用理由が限られるのは何故か。

⇒【村長コメント】

- ・PTA 用のパソコンの整備については出来なくはないが、何かと共用で運用する等した方が無駄
がないだろう。例えば小学校なら、パソコン教室用のパソコンを使用していない時間帯にネッ
トワークから切り離して利用する等の方法が考えられる。
- ・書類等については、担当課へ状況を確認する。そもそも正職員や臨時職員に 1 人 1 台パソコン
が整備されているかについて確認する。

⇒【子育て支援課コメント】

- ・既存のパソコンの共用については、現在、幼稚園に配備されているのは全て業務用パソコンで
あり、個人情報等も扱っているため、保護者との共用はできません。
- ・新規のパソコン整備については、現在、幼稚園 P T A 活動に使用するパソコンを、村予算で整
備する予定はありません。
- ・根本的な問題として、P T A 活動における資料・広報作成等の作業に煩雑な面があり、保護者
の負担が大きいと受け止めています。今後、各園との協議を踏まえ、効率的な運営について検
討していきます。

【2】 第二荒谷台住宅地内の施設について

- ・日本原子力研究開発機構の第二荒谷台住宅について、現在 2 軒だけ居住しているが、2 年後
に居住者が誰もいなくなると聞いている。第二荒谷台住宅がなくなると住宅内の道路が使用
できなくなるし、人の目もなくなり危険。また、施設管理もされなくなると、公園等も利用
できなくなるので、村で活用できないだろうか。

⇒【村長コメント】

まずは日本原子力研究開発機構に状況を確認する。道路の接続については担当課に確認する。

【3】 アイヴィルのピアノについて

- ・孫の演奏会でアイヴィルのピアノを使用する機会があったが、調律がされていなかったと聞いた。
実際に調律はされていないのだろうか。

⇒【村長コメント】

担当課に確認する。

⇒【まちづくり推進課コメント】

アイヴィルのピアノに関しては、平成 28 年度には年間 52 件の御利用をいただいております。ピ
アノの移動等に伴い調律のズレが生じてしまう状況などがあり、ピアノの調律は行っておりませ
んでした。そのため現状では、利用時に際して、調律ができていないことを説明し、御了解の上、御
利用していただいております。

しかしながら、利用回数を考慮し、今後は、定期的な調律をし、利用される方に快く御使用いただけるよう努めてまいります。移動の際にどうしても調律のズレが生じてしまう恐れがありますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

【4】 私の提案

■楽しみながら歴史を学べる（古代村公園の設置）歴史遺産を観光の一助について
・東海村の歴史を後世に伝えるための「楽しみながら学べる公園」の設置を提案する。

■これからの生活スタイルについて

・子孫に少しでも良い環境を渡すために村民への啓発として下記を提案する。

- ①ガソリン、電気、水道の無駄使いをなくそう。
- ②食べ物を粗末にしない、残さない、捨てない。
- ③隣近所助け合って仲良く暮らそう。（向こう三軒両隣）

⇒ 【村長コメント】

- ・公園の設置については御意見として伺う。
- ・エネルギーや資源の無駄遣いをなくしていくためには家庭教育の推進が大切。
- ・隣近所の助け合いについては、今の時代、精神論では実現できないので、何かしらメリットがあるようにしていかなければならない。

【5】 点字ブロックについて

駅前の階段付近の点字ブロックが無いと聞いたが対応できないか。

⇒ 【村長コメント】

まずは現状を確認する。

⇒ 【都市整備課コメント】

東海駅東口前の歩道は、駅の階段まで誘導する視覚障害者誘導用ブロック（通称：点字ブロック）が敷設されています。しかしながら、周辺の舗装と同系色のブロックが敷設されており、弱視や色弱者の方々が識別しにくい状態となっています。

今後、視覚障害者誘導用ブロックを識別しやすくするため、ブロックの色を歩道とのコントラストがはっきりする色に変更し、安全に誘導できるよう努めてまいります。